

## 第2章 枕崎市水道事業の概要

### 2. 1 枕崎市水道事業のあゆみ

#### (1) 上水道敷設以前の飲料水（平成2年 枕崎市誌より抜粋）

上水道のなかったころ、枕崎には490余の井戸がありました。車井戸や、はねつるべが主であり泉もありました。

また、自家掘さくのポンプ井戸もあり、その半数は飲料水不適のものとされていました。大正年代の後半に実施した寄生虫の保有者は89.4%と記録されています。

別府地区では谷川のわずかなたまり水を飲料水とし、不足分は雨水をろ過して補っており古来より水の欠乏に悩まされていました。晴天が続くと水はことごとくかれ、海岸の湧水を馬の背で運んだり、遠く他村へもらいに行つて辛うじて命をつないでいました。そのため、別府地区が市内の水道の創始となつており、中でも中原集落の水道は最も古く、幕末から明治の初期に松の丸太で作つた松桶（まつで）を用いて布設されたものでした。

#### (2) 水道事業の創設

##### (枕崎系)

衛生的で清浄な飲料水を供給して、伝染病を始め、寄生虫の発生を防ぐことが重要であり、昭和5年腸チフスの大流行を機に上水道敷設は有志の間で検討され、昭和9年に水道水源調査に着手し昭和12年3月に認可されて翌昭和13年起工されました。

昭和15年12月に深浦で自然湧水を集水池に集めて片平山配水池より公私設の共同栓421戸に給水を開始し、翌昭和16年3月に完成しました。

本市の近代水道の扉が開かれた瞬間です。

##### (別府系)

白沢簡易水道は、東・西白沢地区に給水するため「神の河」の湧水を水源とすると共に、北西部の坊主山に配水池を建設し昭和33年に竣工しました。

その後、俵積田集落及び別府小・中学校に給水する目的で横山（中原集落との中間）に配水池を建設し昭和36年に別府簡易水道として竣工しました。

#### (3) 拡張事業

戦争は水道にも多大の被害を与えましたが、戦後いち早く水道施設の復旧に着手しました。給水人口も年々増加し、給水施設の増設を余儀なくされ昭和35年に深浦ポンプ場からの送水施設を拡充しました。

また、片平山配水池も昭和 38 年増設し給水区域も立神校区と桜山校区にも延びていきました。(第 1 次拡張事業)

その後、生活文化の向上と特定第 3 種漁港として、漁獲物の水揚高の増加と共に水の需要が年々著しい上昇をたどり、昭和 43 年 4 月には湧水の減少などもあって時間給水のやむなきに至っています。このような状況に対応するために新たな水源の確保が必要となり、花渡川の表流水を水源とする金山浄水場(昭和 51 年 3 月竣工)が建設されました。

また、給水区域も水道水普及の要望があり枕崎、東鹿籠・西鹿籠(一部を除く)を新たに編入し拡張されました。(第 2 次拡張事業)

平成 5 年には、別府地区の硝酸態窒素等による水質問題により、これまで市営簡易水道事業であった白沢簡易水道、別府簡易水道を上水道に編入し、平成 8 年には白沢水源地に硝酸態窒素除去装置の建設を行い、板敷集落水道も平成 11 年に上水道に編入しました。これらの施策に伴い別府系統の施設整備を行うため、2 回の変更認可を行い現在に至っています。(第 3 次拡張事業)

さらに、良質な水の安定供給を行うために平成 13 年には木場配水池、平成 19 年には牧園ポンプ場、牧園配水池を建設し「安全で潤いのあるきれいなまちづくり」を目指し、良質な水環境の整備に努めています。

### (3) 本市水道事業の災害

平成 5 年度は、集中豪雨により鹿児島市において 8.6 水害が発生した年でした。枕崎市においても同年 9 月 3 日の台風 13 号による大雨で金山浄水場が冠水し、電気機械設備を中心に水浸しになり、長時間の運転不能や管路施設の破損に伴い、市内のほとんどの地域が断水になるなど、これまでに例をみない大災害となりました。応急給水、応急復旧には他課の職員や自衛隊・県内の水道事業体の協力をいただきました。

また、翌平成 6 年度には異常渇水による水源水量不足を生じ、市民に大変な心配や不自由をさせるなど、水道事業は様々な困難を乗り越え発展してきました。



深浦水源地の集水池

※昭和 16 年の創設当初からのものです。  
今では珍しい円筒形のシンボル

水道事業の沿革を表 2-1 に水道料金の改定を表 2-2 に示します。

表 2-1 水道事業の主な出来事と概要

昭和 9.	上水道水源の調査を開始	37. 03	上水道事業増補改良工事竣工
12. 03	上水道事業創設事業認可 計画 { 給水人口 =20,000 人 1 日 1 人当最大給水量=140ℓ 1 日最大給水量 =2,800 m <sup>3</sup>	43. 05	市営別府簡易水道事業変更認可 計画 { 給水人口 =1,400 人 1 日 1 人当最大給水量=200ℓ 1 日最大給水量 =280 m <sup>3</sup>
16. 03	上水道事業工事竣工	46. 03	上水道事業第 1 次拡張工事竣工
26. 01	上水道事業増補改良事業認可 計画 { 給水人口 =20,000 人 1 日 1 人当最大給水量=200ℓ 1 日最大給水量 =4,000 m <sup>3</sup>	47. 01	上水道事業第 2 次拡張事業認可 計画 { 給水人口 =30,000 人 1 日 1 人当最大給水量=600ℓ 1 日最大給水量 =18,000 m <sup>3</sup>
32. 10	市営白沢簡易水道事業認可 計画 { 給水人口 =2,000 人 1 日 1 人当最大給水量=100ℓ 1 日最大給水量 =200 m <sup>3</sup>	51. 12	上水道事業第 2 次拡張工事竣工
33. 11	市営白沢簡易水道事業工事竣工	平成 05. 03	上水道事業第 3 次拡張事業認可 (市営簡易水道事業を上水道事業に編入) 計画 { 給水人口 =28,500 人 1 日 1 人当最大給水量=793ℓ 1 日最大給水量 =22,600 m <sup>3</sup>
35. 10	市営別府簡易水道事業認可 計画 { 給水人口 =1,400 人 1 日 1 人当最大給水量=100ℓ 1 日最大給水量 =140 m <sup>3</sup>	09. 03	白沢浄水場浄水方法の認可変更 硝酸態窒素除去装置設置
36. 08	市営別府簡易水道事業工事竣工	11. 03	板敷集落水道編入
36. 12	上水道事業第 1 次拡張事業認可 計画 { 給水人口 =30,000 人 1 日 1 人当最大給水量=300ℓ 1 日最大給水量 =9,000 m <sup>3</sup>	14. 03	木場配水池 (3,000 m <sup>3</sup> )
36. 12	市営白沢簡易水道事業変更認可 計画 { 給水人口 =2,000 人 1 日 1 人当最大給水量=150ℓ 1 日最大給水量 =300 m <sup>3</sup>	16. 03	上水道事業認可変更 計画 { 給水人口 =22,000 人 1 日 1 人当最大給水量=590ℓ 1 日最大給水量 =13,100 m <sup>3</sup>
		19. 12	牧園集落水道編入

表 2-2 水道料金の改定の状況

昭和 29. 11	水道料金改定 (110 円/10 m <sup>3</sup> )
31. 7	水道料金改定 (130 円/10 m <sup>3</sup> )
36. 04	水道料金, 納付奨励金の交付規則を制定
41. 10	水道料金改定 (200 円/10 m <sup>3</sup> ) 上水道事業と市営簡易水道事業の同額料金制
47. 11	水道料金改定 (260 円/10 m <sup>3</sup> )
50. 07	水道料金改定 (460 円/10 m <sup>3</sup> )
51. 04	水道料金改定 (590 円/10 m <sup>3</sup> )
55. 08	水道料金改定 (725 円/10 m <sup>3</sup> )
56. 04	水道料金口座振替制実施
平成 1. 04	消費税率 3%
7. 08	水道料金改定 (975 円/10 m <sup>3</sup> )
9. 04	消費税率 5%
13. 01	水道料金改定 (1,250 円/10 m <sup>3</sup> )
26. 04	消費税率 8%

## 2. 2 給水区域

本市の水道は昭和 16 年に竣工以来 3 次にわたって拡張事業を行い、給水区域を拡大しており計画給水区域は 38.16 km<sup>2</sup> となっています。

また、給水区域内においては地形や配水ブロック化により 9 箇所の配水区域に分離して配水管理を行っています。

給水区域図の主要施設とフロー図を図 2-1 と図 2-2 に示します。

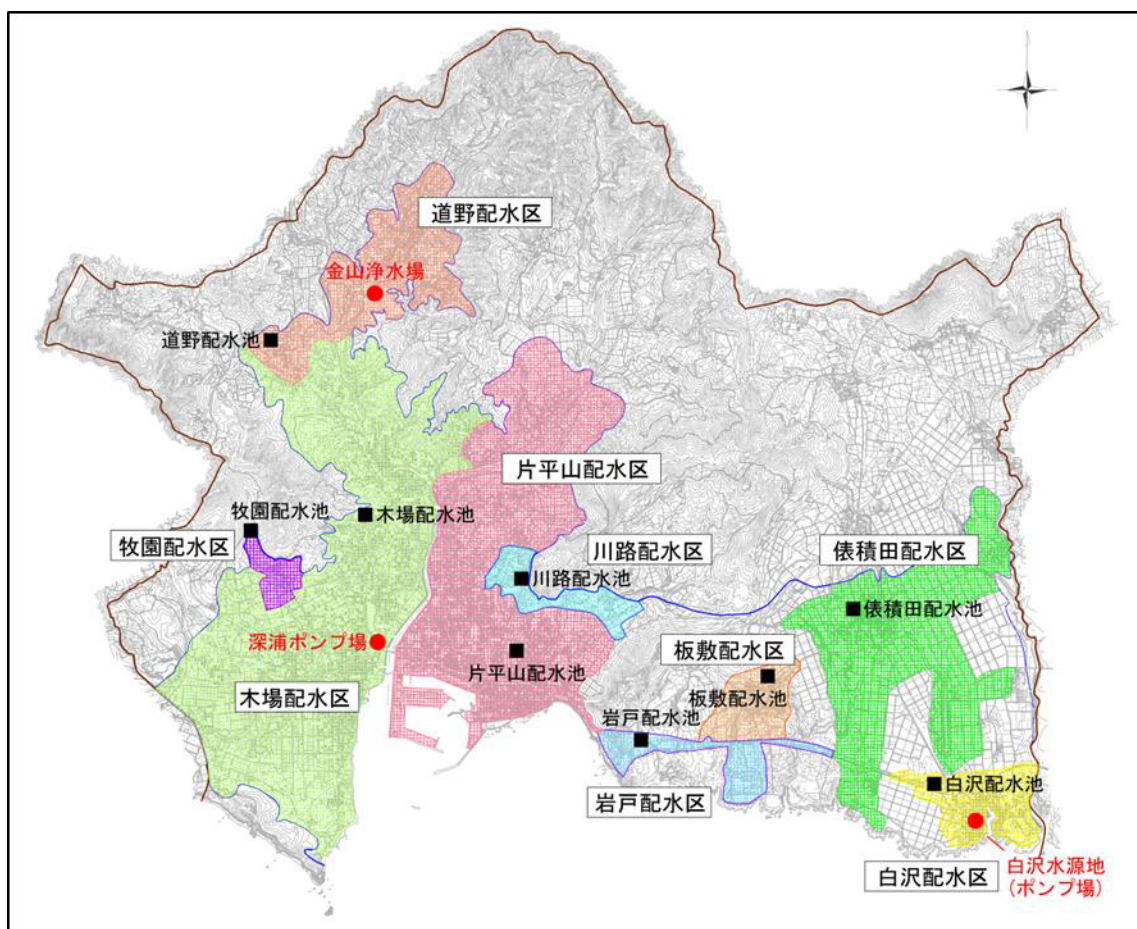


図 2-1 給水区域図

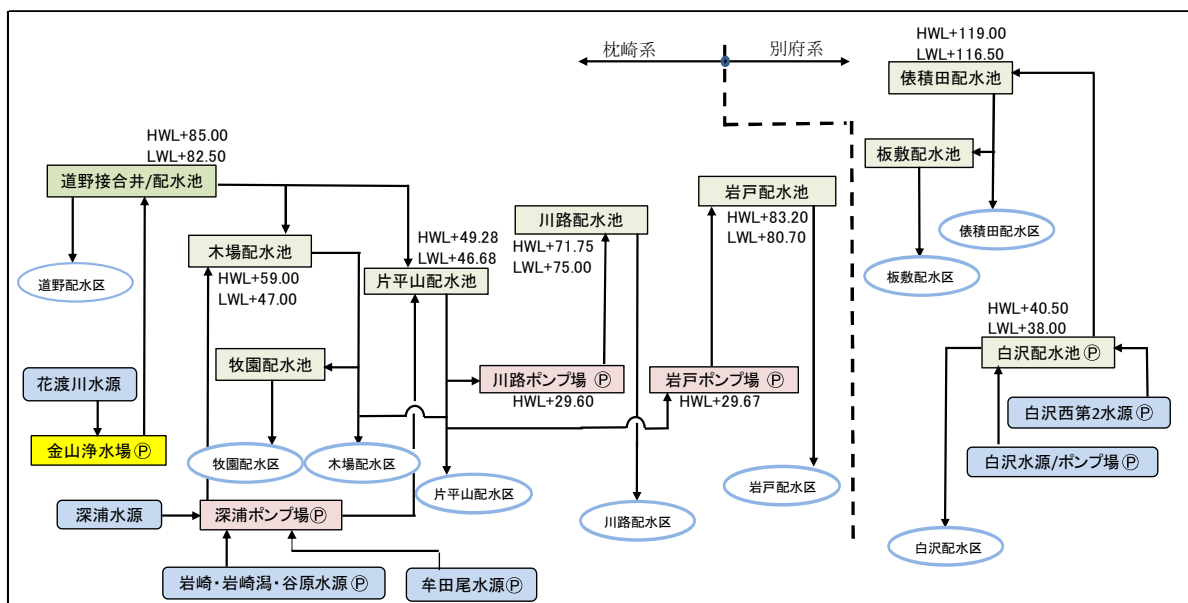


図 2-2 主要施設フロー図



木場配水池：V=3,000m<sup>3</sup>（耐震構造）

市上水道区域内外には、簡易水道及び地域水道があります。既存の水道施設で供給が可能な地域水道は、上水道事業への編入を適切な対策を講じて推進していきます。

一方、既存施設では供給が困難な地域については、実態を把握する中で全庁的に取り組む必要があります。名称と市水道給水区域の内側か外側かを表 2-3 に示します。

表 2-3 簡易水道及び地域水道

名 称	上水道給水区域		名 称	上水道給水区域	
	内側	外側		内側	外側
中原地区簡易水道		○	木浦水道組合		○
茅野地区簡易水道		○	立神前水利用組合	○	
下山地区簡易水道		○	松崎水道組合		○
駒水地区簡易水道		○	小塚水道組合		○
真茅地区簡易水道		○	鳥越奥ヶ平水道組合		○
大塚水道組合	○		木口屋水道組合		○
深浦水道組合	○		界守水道組合		○
松下小園水道組合	○		春日鉦山株式会社		○